

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在地	東京都台東区竜泉 1 - 19 - 7
施設名	AIAINURSERY 入谷

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「色々な音にふれる」

<テーマの設定理由>

何気なく聞こえる生活の音や意識して叩いたり振ったりしてでる音に反応したり表現したりし、「音」への興味関心を深め、表現力を身につける。

2. 活動スケジュール

- ① 「生活の中での音」はどんなものがあるか話し合う
 - ・ のりもの ・ 家の中 ・ 動物
 - ・ 身の周りの音や鳴き声を声で表してみる
- ② 意識して叩いたりぶついたりしてみる。
「これを叩くとどんな音が鳴るかな」
- ③ 手作りの楽器を作って色々な音を感じてみる。
音でお話ししてみる。
自分の名前、動物になって音を出してみる。
 - ① 音楽に合わせて音をならしてみる。
 - ② 自由に好きな音で楽しむ。体で表現してみる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ グループを作る
- ・ 準備物 ペットボトル、ビーズ、鈴、箱、牛乳パック、ペットボトルの蓋

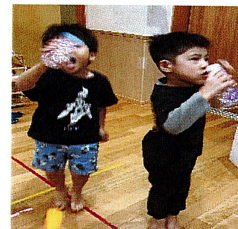
4. 探究活動の実践

<活動の内容>

身近なもの叩いてみる。
手づくりの楽器を作る。
手づくり楽器でお話する(友達同士で動物の鳴き声や自分の名前を言ったりしてみる)
いろいろな音を感じ聞こえてきた音で走ったり、ジャンプしたり「音を聴いて感じたことを体で表現してみる。」
音楽に合わせて自由に音を出しリズムを楽しむ。
自由に好きな音やリズムを選んでお話を表現する面白さを味わう

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

叩くものによって音が違うことに気づく
楽器により音が違うことに気づく
自由に自分の好む音を選んだり、鳴らし方もゆっくりしたり、早く振って見たりし
同じ楽器でもスピードによって音が違うことに気づく。
慣れてくると思い思いのリズムで表現する面白さを味わっている。
みんなで音楽に合わせて表現する、楽しさや面白さを感じている。
聞こえる音で思い思いに走ったり、ジャンプしたり、転がったりしている。
音を通して友達と楽しむ中で友だちとの関わりが深まる。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 音違いがわかる身近なものの用意をしたり、素材や道具も色んな音の出るものを準備したりもっと違う音の楽器を製作出来たら色々な表現できたのではないかな。
- ・ 音を通して友達と楽しむ中で友だちとの関わりが深まる。
- ・ 体を動かすことで運動面も育まれる。
- ・ 日頃から様々な音に触れ意識的に音を感じることで更に音への興味関心が深めていくことができ、生活の中や自然など音に触れることで感性も豊かになり、表現力をついてくる。